

県議会議員 土井りゅうすけ

将来を見据えた必要な施策を

企画Ⅱ 自民党県議団

昨年は議会運営が大きく変化しましたね

土井―議会の会期日数が

一昨年までの100日程度から200日程度へと増えました。議会で議論する前

に県知事が判断して決める専決処分が減り、充実した議論ができました。行政職

員の不適正経理の問題が発覚し、県議会では特別委員をを設置して行政職員の意見を

議改革に努めてきました。議会側のチェック機能が働

いた一つの事例でしょう。

今後モチェック機能を強化していきます。

青少年の育成に関する条例が改正されましたね

土井―青少年が明るく希望を持つて成長できる社会を築くためには「青少年問題は社会全体の問題」として強く認識する必要があります

ます。昨年10月に「神奈川県青少年保護育成条例」が改正され、今年4月から施行されます。青少年をめぐる問題の根底は大人のマナ

ーやモラル低下といった問題と捉えるべきと主張して

きました。青少年指導員をはじめ、地域で活動する関係団体などの協力が新たに

位置づけられ、地域社会全体で取り組む内容となりま

した。

治安の面でも一つ大きな動きがありますね

土井―先ずこの社会から暴力団を排除し、県民生活

の平穏を維持するために暴力団排除

ためです

条例を制定しました。今年4月から施行されます。この条例には青少年の育成と

いう観点も盛り込んでおり

ます。例えば、暴力団事務所に青少年を連れて行った

り、金品を渡そうとすると中止命令が出されます。そ

れでも従わなければ罰則の対象となります。また、資

金源を断つという意味では取引をしている企業や利益

供与が認められた企業に対して官報やインターネット

で公表することを検討しています。県内市町村も同様の

条例を制定することで大きな効果が出ますから、県

議団として各市町村に働きかけていきます。川崎市では市民・子ども局が窓口とな

っていますが、ぜひとも取り組んでほしいですね。

税金の使途と事業効果

を明確にする施策も注目されますが

土井―神奈川県では法人県民税と事業税において、特定の政策目的を達成するための超過課税を実施して

います。超過課税を納めている企業の6割以上が政令市に集中していることを考

えれば、県内の政令3市に対して施策が必要です。そ

の中で道路等の社会基盤整備に超過課税が活用される

ようになったのは一つの成果だと考えています。

羽田空港国際化で神奈川県が世界の玄関口になると

いいですね

土井―羽田空港の国際化の実現に伴って神奈川県構

想を促進させていきます。一日も早く神奈川県が世界の

玄関口となるように働きかけていきます。その中で観光

産業の発展が期待されます。神奈川県には鎌倉があり、

横浜があり、そして多摩区も観光産業を支える地域と

考えています。

藤子・F

不二雄ミュージアムが今年9月に開設され、岡本太郎美術館や青少年科学館、

日本民家園と観光資源が充実しています。日本民家園

にはすでに多くの外国人が訪れています。観光振興に

おいて多摩区でも様々な施策が展開されるように働き

かけていくことが大切です。

今年は自民党県議団として力を入れている取り組み

がありますね

土井―今年は議員提案で「歯及び口腔の健康づくり推進条例」の制定を目指し

ます。80歳で20以上の自分の歯を保とうという取り組み

です。乳幼児から高齢期まで適切な歯科保険医療

サービスを受けられるように環境を整備していきたい

です。多くの人から意見を頂き、有意義な議論が必要だと

考えています。



土井りゅうすけ

生年月日:1959年5月7日(51歳)
略歴:衆議院議員 小泉純一郎秘書
平成11年より神奈川県議会議員(3期)
現職:自民党県議団代表
防災警察常任委員会委員
事務所 ☎911-5200